

報道関係者各位

2015年9月2日

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピースが  
アンゴラ大統領宛アンゴラ人ジャーナリストへの有罪判決の取り下げを求める  
署名キャンペーンを開始

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース（以下、DFP）は、2015年8月21日（金）に、アンゴラのダイヤモンド業界の不都合な真実を暴き、有罪判決を受けたジャーナリスト、ラファエル・マルケス・デ・モライス氏に対する判決取り下げをアンゴラ大統領に求めるキャンペーンをchange.orgにて開始しました。2か月間のキャンペーンを通じて世界中から集まった署名を、DFPにて取りまとめた後に、在日アンゴラ大使館に届けます。

【change.org キャンペーンページ】

（日本語） <https://goo.gl/ypkcb1>

（英語） <https://goo.gl/hnGDIm>



アンゴラ人ジャーナリストおよび人権擁護活動家のラファエル・マルケス・デ・モライス氏の裁判の様子

（写真: Maka Angola）

【本キャンペーンの背景及び詳細】

2009年から2011年の間に世界第四位のダイヤモンド生産国・アンゴラのダイヤモンド採掘地域で行われた500件の拷問と100件以上の殺人事件が、腐敗した政府高官たちによる組織的犯行であることを自身の著書「ブラッド・ダイヤモンド～アンゴラの腐敗と拷問」（日本語版未発表）の中で公表したアンゴラ人ジャーナリスト、ラファエル・マルケス・デ・モライス氏は、その著書の内容を巡りアンゴラ政府高官らにより名誉毀損等9つの罪で起訴され、2015年5月28日に懲役6ヶ月執行猶予2年の判決を言い渡されました。

アンゴラ政府は、公平な裁判の実施と表現の自由を規定する「国際人権規約」及び「人及び人権の権利に関するアフリカ憲章」に加入しているにもかかわらず、モライス氏はこの裁判で証拠の提示や証人の証言を求めないと同意させられ、①不公平な裁判により有罪判決が下され、②ジャーナリストとして表現の自由を制限されています。

ダイヤモンド採掘労働者が置かれている状況の改善を、「報道」という側面から支援するモライス氏の表現の自由を確保するために、DFP はアンゴラ大統領へモライス氏への有罪判決の即時取り下げを求める署名キャンペーンを開始しました。

#### 【参考】

本件に関するラファエル・マルケス・デ・モライス氏の関連記事やアンゴラについては、当団体ホームページよりご覧いただけます。

#### ●本キャンペーンに関連する情報

<http://diamondsforpeace.org/angola-campaign-2015/>

#### 【当リリースへのお問い合わせ先】

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース

〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町 1-2-1 中央第 6 関内ビル 302

TEL 045-883-7817 (株ピースダイヤモンド内)

<http://diamondsforpeace.org>

[info@diamondsforpeace.org](mailto:info@diamondsforpeace.org)

担当：村上千恵